

令和5年度の概要です。

授業科目名	看護学
授業科目名（英字）	Nursing
時間割	前期 火曜日 2校時 L-4 2 2
対象年次及び学年	1年次
担当教員	金正 貴美 野原 留美 前川 泰子 山本 美輪
ナンバリングコード・水準	B2
ナンバリングコード・分野	NRS
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー（DP）	bde
ナンバリングコード・提供部局	G
ナンバリングコード・対象学生	1
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応	O
ナンバリングコード・授業形態	Lg
ナンバリングコード・単位数	2

関連授業科目	心と体の健康 医学
履修推奨科目	心と体の健康 健康を支えるからだの仕組み コミュニティと住環境 日常生活の中の生命科学
学習時間	講義90分 × 15回 + 自学自習（準備学習18時間+事後学習42時間）
授業の概要	看護学は、自然科学と人間科学の双方の要素を持ち、健康に関連して人々が示す反応の意味を探索し、人々の生活をベースに健康の維持増進、疾病予防、疾病での発達段階、すべての健康の段階にある人間、家族、地域の健康問題にまで広がっている。看護学では、看護について幅広い知識を概説するとともに、各看護領域
授業の目的	看護学について幅広い知識を獲得し、理解を深め考えることができる。
到達目標	1．地域社会における看護の役割について述べるができる（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応）． 2．各看護領域における看護の特徴について説明することができる（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応）． 3．各看護領域における看護の現状と課題について説明することができる（共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」、「市民としての責任感と倫理観」に
成績評価の方法	授業ごとの課題レポートにより、総合的に評価する。評価は授業ごとの課題レポート得点の和で100%とする（到達目標1～3に対応）．
成績評価の基準	成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。 優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。 良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。 可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。 不可（60点未満）到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。 授業計画 第 1回：授業ガイダンス：授業の概要、授業の目的と到達目標、成績評価の方法と基準、授業計画と授業および学習の方法、オフィスアワー、看護と社会の課題との関連についての学習方法について（金正） 第 2回：看護の役割と機能について（前川） 第 3回：看護の対象の理解：対象となる人間、生活、環境、生活体としての人間の側面について（前川） 第 4回：看護の挑戦（看護実践が成し得たこと）（前川） 第 5回：健康の捉え方、国民の健康、ヘルスプロモーション（前川） 第 6回：成人看護の対象の特徴について（金正） 第 7回：成人看護の対象の特徴、摂食嚥下障害のある患者の看護（金正） 第 8回：家族のはじまりを支える看護の役割（野原） 第 9回：青年期における母性看護の役割-性感染症予防・デートDVについて-（野原） 第10回：高齢者の特徴と看護の役割（山本）

授業計画並びに授業及び学習の方法	第11回：高齢者の死生観（山本） 第12回：認知症の理解とケア・アルツハイマー型認知症（山本） 第13回：認知症高齢者とその家族へのケア（山本） 第14回：成人看護の対象の特徴、循環器系疾患を持つ患者の看護（金正） 第15回：成人看護の対象の特徴、終末期看護、最後のまとめ（金正） ＊この科目は対面授業と一部遠隔授業を行います。ただしコロナ禍の感染対策のため、遠隔授業になる可能性もあります。 【自学自習に関するアドバイス】 第1回：日本看護協会ホームページ（URL：https://www.nurse.or.jp/home/publication/index.html）を参照し、看護と社会の課題との関連について調べ 第2回：自分の1日（起床～就寝まで）を振り返り、自力で日常生活ができなくなった場合に、整える環境について考える（1時間）。授業後に課す課題に取り組む 第3回：看護の対象を知り、保健・医療・福祉における看護の役割や、関連職種との連携について考える（1時間）。授業後に課す課題に取り組む（3時間） 第4回：看護の考え方を知り、看護の力が成しえた事、看護の可能性について考える（1時間）。授業後に課す課題に取り組む（3時間）。 第5回：世界、および日本の健康・保健・医療・福祉の状況を捉え、自身の健康行動について考える（1時間）。授業後に課す課題に取り組む（3時間） 第6、7回：事前に提示する配布資料に目を通しておく（2時間）。講義内容に関連する新聞記事や文献を調べ課題レポートを作成する。（6時間） 第8回：事前に現代の子育て期の家族のおかれた状況と、妊娠前からできる子育て支援について考える（1時間）。授業後には授業時に課す課題に取り組む（3時間） 第9回：事前に性感染症予防とデートDVについて、これまで学校で学んだことを復習しておく（1時間）。授業後には授業時に課す課題に取り組む（3時間） 第10～13回：事前に資料を配布するため、その資料を読んで受講してほしい。 参考：山本美輪他：これからの高齢者ケア ～知る・識る・共感する～出版社シーピーアール（購入不要、準備・事後学習 各回4時間） 第14,15回：事前に提示する配布資料に目を通しておく（2時間）。講義内容に関連する新聞記事や文献を調べ課題レポートを作成する。（6時間）
教科書・参考書等	教科書は指定していません。参考書は授業中に適宜紹介します。
オフィスアワー	前期 火曜日13：00～16：00 医学部キャンパス看護学科教育研究棟 各教員研究室 事前に教員にメールで、予約をとってください。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	香川大学Moodleを基盤にしており、講義資料やお知らせなどアップロードするため、毎回よくみて下さい。 初回の講義は必ず出席し、授業ガイダンスについてよく理解しましょう。毎回出席をとります。 履修希望者が多い場合は抽選とします。 講義は教室での対面と一部遠隔ですが、特別な事由による欠席届を提出し受講を希望する場合は、香川大学Moodle内でオンデマンド講義配信も準備できます。その
参照ホームページ	
メールアドレス	講義ごとに質問をメールで受け付ける。教員のメールアドレスは以下のとおりである。 第2～5回 maekawa.yasuko@kagawa-u.ac.jp 第8, 9回 nohara.rumi@kagawa-u.ac.jp 第10～13回 yamamoto.miwa@kagawa-u.ac.jp 第1, 6, 7, 14, 15回 kinsho.takami@kagawa-u.ac.jp
教員の実務経験との関連	担当教員は、各領域における専門施設での実務経験を基盤とし、看護実践能力、教育実践能力、研究能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力で構築され